

河川工作物アドバイザー会議の経過報告・今後の予定

1 平成26年度（2014年度）河川工作物アドバイザー会議の開催状況

- (1) 平成26年5月28日 検討会（場所：札幌市）
○主な議題
- ・ルシャ川ダム今後の取扱いについて
 - ・世界遺産委員会決議に係る今後の対応について
- (2) 平成26年9月9日～10日 第1回会議開催（場所：羅臼町、斜里町）
○主な議題
- ・第2次検討ダム先行河川（モセカルベツ川、オッカバケ川）の現地検討
 - ・ダム改良後の河川（イワウベツ川支流赤イ川）の現地視察
 - ・ルシャ川ダムの取扱いについて
 - ・世界遺産委員会決議に係る今後の対応について
 - ・長期モニタリング項目の評価について
 - ・第2次検討ダムについて
- (3) 平成27年1月29日 第2回会議開催（場所：札幌市）
○主な議題
- ・世界遺産委員会決議に係る保全状況報告について
 - ・長期モニタリング項目の評価について
 - ・今年度のモニタリング結果について
 - ・今後のダム改良について
ルシャ川ダムの取扱いについて
第2次検討ダムについて

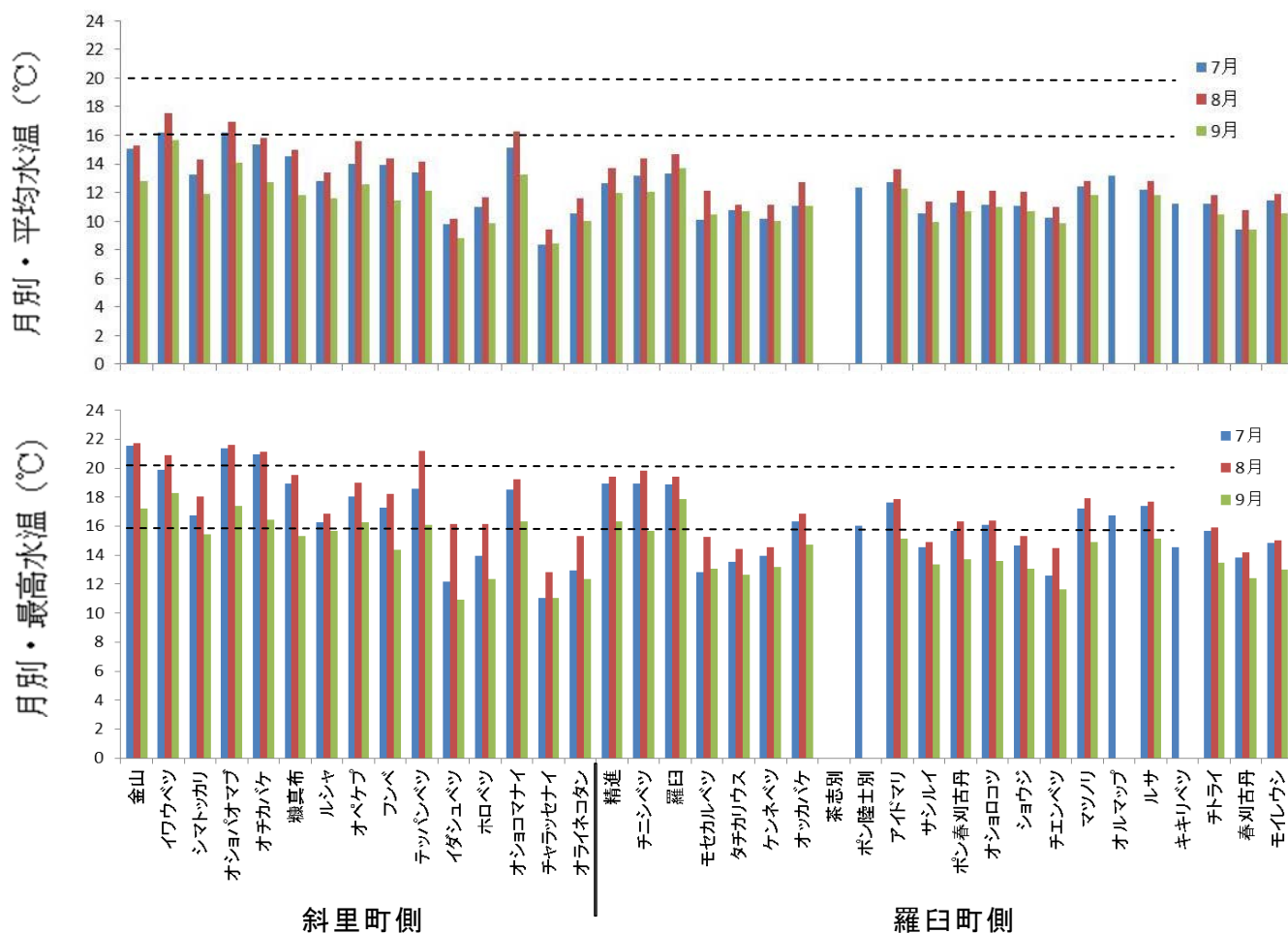
2 今年度のモニタリング調査結果

長期モニタリング計画及び第36回世界遺産委員会決議を受けて平成24年度に見直したモニタリング計画に基づき、以下の調査を実施した。

- (1) イワウベツ川（赤イ川、ピリカベツ川）、サシルイ川、チエンベツ川、ルシャ川、羅臼川においてダム改良後のサケ類の遡上状況等調査を実施した。
今年度はカラフトマス、シロザケともに来遊量が少なかったこともあり、ほとんどの河川では改良ダムの上流までの遡上は少なかった。また、ルシャ川と羅臼川では一部のダムの落差が河床低下により拡大し、遡上障害が生じていた。
- (2) 7月から9月まで遺産隣接地域を含む37河川にデータロガーを設置し、夏季の水温計測調査を実施するとともに、このうち8河川においてオシヨロコマ等の生息状況調査を実施した。
8月の平均水温は、2000年以降明確な上昇は観測されていないが、5河川（うち遺産地域内2河川）においてオシヨロコマの生息に負の影響が及ぶとされる最高水温20℃を上回る日が観測された。また、遺産隣接地域の調査地点では、オシヨロコマの生息が確認できなかったところもあった。

今年度実施した水温の計測結果は次のとおりであった。

2014年度 河川別 7・8・9月の平均水温と最高水温



3 第36回世界遺産委員会決議に係る保全状況報告について

決議に基づいて保全状況報告をとりまとめ、1月末に世界遺産センターに提出した。

4 今後のダム改良について

改良すればサケ科魚類の生息環境等の改善が図られる可能性があるものの、改良に伴う防災機能等への全体的な影響が大きいため「現状維持」と評価した河川工作物（第2次検討ダム）について、防災機能等を維持しつつ、サケ科魚類の遡上に加え産卵環境の改善にも焦点を当てたダム改良を進めるため、該当となる35基についてレビューを実施し、次年度以降、検討を始めることとしている。

また、先行的検討河川として選定しているオツカバケ川2基（林野庁）とモセカルベツ川1基（北海道）について、現地検討の結果を踏まえ、具体的な検討を進めることとしている。

さらに、ルシャ川の取扱いについては、具体的な検討を開始したところであるが、今後、改良方法等の決定に向けた水理模型実験や現地検討等を進めることとしている。

5 今後の会議開催予定

第1回 現地検討会：2015年8～9月頃

第2回 2016年1月頃